

ホームページへの掲載		
済	1月 28日	掲載予定

岐阜県立東濃フロンティア高等学校

校長 藤吉 和彦
学校住所 土岐市泉町河合1127-8 電話 0572-55-4151

- 1 会議の名称 岐阜県立東濃フロンティア高等学校評議員会（第2回）
- 2 会議の構成
- | | | |
|-----|-------|--------------|
| 評議員 | 額 健二 | 泉町河合区長 |
| | 鈴木 和也 | 同窓会副会長 |
| | 成瀬 直幸 | 東濃鉄道多治見営業所助役 |
| | 山田 利彦 | 土岐市泉西公民館館長 |
| | 吉田 素子 | 土岐市保護区保護司会 |
- （五十音順・敬称略）
- 学校側
- | | |
|-------|---------|
| 藤吉 和彦 | 校長 |
| 原 恵市 | 副校長 |
| 白石 秀史 | 教頭 |
| 永瀬 雅彦 | 事務長 |
| 伊納 義朗 | 教務主任 |
| 杉本 知宏 | 生徒指導主事 |
| 松浦 隆秋 | 進路指導副部長 |
- 3 会議の目的 学校運営等について地域住民や地域の関係機関の代表者及び有識者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、「開かれた学校づくり」、「特色ある学校づくり」を推進する。
- 4 会議の開催 令和2年1月20日（月） 13:30～15:00 校長室
学校評議員5名と学校職員7名が出席
- 5 会議の概要
- （1）学校長挨拶
 - （2）今年度の取組みと成果・課題（白石教頭 他）
 - （3）授業参観（第6限）
 - （4）教育懇談（意見交換等）

<1 学校長挨拶>

本日はご多用のところ、令和元年度の学校評議員会にご出席いただきありがとうございます。生徒は、落ち着いた生活で1年を過ごそうとしています。

大半の生徒がバス通学をしており、東濃鉄道様には、1部・Ⅱ部・Ⅲ部の授業時刻にあわせてバスの運行をしていただいています。学校行事でのバス増便や、警報発表時での臨時便にも対応していただき感謝申し上げます。先日も卒業式での増便をお願いに行ったところ、所長様はじめ学校評議員の助役様が配車表を確認し、定時に挙行できるよう配慮していただきました。学校としても、バスの運行時間等に支障が出ないように、来年度の学校行事等の見直しをしようと考えています。本校は、地域や諸団体の代表である学校評議員の皆様を支えられている学校だと、あらためて思った次第です。

本日は、是非ICT機器を活用した授業を見ていただきたいと思います。残念ながら、タブレットはまだ使用していませんが、授業形態の大きな変化を実感していただけるかと思います。

学校評議員会は、それぞれの立場からご意見やご助言をいただける、大変貴重な機会です。忌憚のないご意見やご助言がいただけたらありがたいと思います。

<2 今年度の取組みと成果・課題>

①学校評価について (教頭)

- ・85%以上の肯定的な評価が高い項目は、生徒・保護者ともに、教職員に対する項目と学習指導の項目である。逆に、部活動が活発ではないと答える生徒が増加した。

②教務部より

- ・ノート学習を取り組ませているが、ノートを1冊以上使用する設定目標の達成度は3割弱となり、昨年度の1割から大きく改善された。また、設定目標を達成できない生徒も、取組み姿勢が改善したと答える生徒が増加した。今後も、学習に向かう生徒を育成していきたい。
- ・公開授業週間は、6月と10月に開催した。10月は、ICT機器を活用した授業公開と位置づけ、例年より早い時期から実施した。教員間の授業研究も実施し、授業改善に大いに役立った。今後は、タブレット活用についての研修を取り入れ、効果的でわかりやすい授業を実践していきたい。
- ・12月には、特別支援学校との共同学習を行った。例年は、本校教諭が中心で行っていたが、今年度は、特別支援学校の先生にも授業者として関わっていただいた。生徒たちには、互いの理解を深め、社会性を育む貴重な体験となった。

③生徒指導部より

- ・生徒間の問題は、早い段階で生徒から情報が寄せられることがある。そのため、問題を最小限に留めることができた。教員間の連携も良く、チームとして生徒のための支援ができた。
- ・今年度の指導は、「公共の場でのマナー向上」が中心となった。通学バス内・駅前等のマナーについて、地域住民や本校生徒からの苦情があったが、教員による乗車指導や巡回指導を行い、一定の効果があった。

④進路指導部より

- ・CT時間を活用し、各年次のキャリアサポート行ってきた。
- ・3年次生の就職希望者がセラトピア土岐で開催された「企業説明会」に参加した。他校の生徒と共に、約30社の企業の中から関心のあるブースで話を聞いた、また、夏季休業中にハローワーク多治見から講師を招き、求人票の見方などのガイダンスを実施した。
- ・1月6日現在の進路先の報告

<授業参観>

第6限の授業を参観

- 参観授業 I・II部2年次 数学II
I・II部3年次 郷土研究

<教育懇談 感想・提言等>

意見 1: ICT機器を活用した授業は、非常にわかりやすく、生徒は生き生きとしていた。バスの乗車については、ゴミも少なくなった。バスが学校に到着すると、先生方が生徒を迎えている。生徒との信頼関係が強いのが理解できた。

意見 2: アンケートの結果から、先生方は生徒から信頼されていることがわかった。部活動が活発ではないと答える生徒が多いが、どこの学校でも同じようなことではないか。郷土研究では、生徒が製作した「岐阜カルタ」の大会を行っていた。非常に懐かしく見学させていただいた。生徒は楽しそうに参加していた。非常に、ほほえましく感じた。

意見 3: 部活動の評価は、近隣の中学でも同じような問題に直面し、活動人数が少なくなっているようだ。特に運動部に所属する生徒が少なくなっていると聞いた。「通信やホームページ等を用いて様々な情報を伝えているか」の項目では、保護者81%、生徒69%の開きがあるが、学校の情報を地域にも広く知らせることが必要と感じる。「岐阜カルタ」は、授業で使用するだけでなく、公民館の行事にも使えないかなと思った。公民館祭り等で、小中学生と一緒に楽しむこともできるのではないかなと思った。

今年度も、夏の公民館祭りで生徒さんにボランティアとして参加していただいた。「射的」は男子たちに大人気で、女子たちはプラ板の製作を楽しんでいた。終了後は、テントの片付けも積極的に行っていただいた。来年度は、中学生と公民館及び青少年育成会でボランティア部を立ち上げる計画がある。高校生にも是非参加していただけるとありがたい。

- 青少年育成会議主催の「笑顔の集い」に、是非、地域の高校生の参加をお願いしたい。
- 意見 4： 「本校に入学できて良かった」と感じている生徒が、91%もいることに驚いた。この数字からも、東濃フロンティア高校の存在意味を感じる。もっと、地域の人たちに知っていただけたらいいと思う。
- Ⅲ部を希望する生徒の今後の数は。
- 学校：→ 少ないながらも、希望する生徒は存在する。
- 意見 4： BBS連盟と東濃フロンティア高校の生徒を結びつけたかったが、残念ながら叶わなかった。今後もよろしく願いたい。
- 意見 5： 落ち着いて授業を受けていた。積極的な質問も飛び交い、観ていて嬉しくなった。高校時代とは随分雰囲気も変わり、設備も変わった。冷房も完備され、生徒さんの学ぶ環境が整い嬉しく思う。
- 飲料の自動販売機が設置されていないが、今後の予定は。
- 学校：→ 着任当時、肥満や痩せの割合が多い生徒の体格が気になった。10年間のBMI指数を調査してみた。結果は、入学時のⅠ部生はほぼ平均であるが、Ⅱ部生・Ⅲ部生は大きな偏りがあった。また、食事の聞き取りでは、朝食代わりに糖分の多いジュースを飲んだり、お菓子を間食する生徒が多かった。しかし、夕食を給食とするⅢ部生は、その値が改善されていた。
- 生徒会や育友会からも同じような要望が出されたが、本校は、生徒の健康を願い、飲料の自動販売機の設置はしないと話をした。学校はウォータークーラーを2台増設し、保護者にもご理解いただき、飲料の持参について協力をお願いしている。
- 意見 5： 同窓会でも話題になるので質問をさせていただいたが、よく理解できたので同窓会にもその旨を説明したい。

<校長より謝辞>

本日はお忙しい中、本当にありがとうございました。全国組織の「高校給食を考える会」から、本校の給食事情や生徒の健康を知るために、学校訪問を受けた。財政面の事情により、栄養面の高い給食から補食に変わる学校が、全国で多くなっているが、給食の存続については、是非応援していただきたいと思えます。

本日は、忌憚のないご意見をいただき感謝申し上げます。ありがとうございました。